



部員からの質問に丁寧に答える清水さん。「少しでも自分たちの力にしよう」と真剣な眼差しの部員一同

東京2020オリンピックで「侍ジャパン」のコーチを務めた清水雅治さん（浜田市出身）の講演会が、飯南高校で開催されました。

当日は、飯南高校野球部とその保護者、地域住民など70人が参加。清水さんの浜田高校・社会人野球・プロ野球での体験談などに耳を傾けていました。

講演後には、清水さんによる野球部の技術・トレーニング指導が行われ、部員は約2時間「走塁」「守備」「打撃」の基本を学びました。



「普段意識していない細かいところまで分かりやすく教えてもらえました。繰り返し練習し、夏の大会に挑みたい」と石田主将(前列右から4人目)



「自分で決めて、諦めずに最後までやり抜くことが大切」と清水さん。講演会は、赤来・頓原ライオンズクラブなどの協力で実現

5.7
士
侍ジャパンのコーチが登場
演題「すべては自分の心が」

子育てしやすい職場を目指して
（株）藤原建設を「子育て応援企業」に認定

仕事と子育てを両立できる職場環境づくりと、地域の子育て支援活動に積極的に取り組む「飯南町子育て応援企業」に、（株）藤原建設を認定しました。

同社は、子育て中の職員への労働時間短縮に加え、育児に関わる有給休暇の時間単位取得、始業・終業時刻の繰り上げ・繰り下げ勤務など、独自の取組を実施。子どもたちの登下校時のパトロールなど、地域貢献活動も実施されています。



島根県から「しまね子育て『こころカンパニー』」にも認定

若者の採用・育成に積極的に、若者の雇用管理の状況などが優良な中小企業を厚生労働大臣が認定する制度「ユースフル企業」に、（株）後藤建設が認定されました。雲南圏域（飯南町・雲南市・奥出雲町）の建設事業者では初。同社はこれまで、大学・高校からの継続的な新卒採用活動を実施。

後藤幹司代表は「今後も若い世代への建設業のPRと、若手社員の育成支援に力を入れ、持続的な雇用環境の整備に取り組んでいきます」と話していました。



認定書を手にする後藤幹司代表

先を見据えて人材育成
（株）後藤建設が「ユースフル企業」に認定

（一社）飯南町観光協会主催の「春の大万木山トレッキング2022」が開催されました。

頂上周辺に咲く、森の妖精とも称される「サンカヨウ」を見るために集まったのは25人。飯南町森の案内人の説明を聞きながら山を登り、頂上では、大万木山のシンボルであるブナの木の前で記念撮影を行いました。

昼食後、参加者は山頂周辺に、見事に咲きほころぶサンカヨウを撮影するなど、春の大万木山を堪能しました。



山頂までの道中も様々な植物を観察

5.7
士
森の妖精「サンカヨウ」を目指して
春の大万木山トレッキング2022

来島交流センターで「こどもの日映画祭」が開催されました。

この日は町内の親子80人が参加し、子どもたちは目の前の大きなスクリーンを夢中で見つめていました。上映されたのは、子ども向けアニメ「はなかつぱ」の劇場版で、親子の絆が深まる作品となりました。

「コロナ禍でなかなか町外の映画館に出掛けられないことや、子どもたちが公民館事業へ参加するきっかけとなれば」と初めて企画されました。



グッズを被って映画を楽しみました

5.5
祝
大画面にくぎ付けの子どもたち
こどもの日映画祭

4.24
日
春の来島de味覚満喫
タケノコ掘り大会

野萱地区の竹林で「タケノコ掘り大会」が開催されました。

参加したのは、町内の子どもとその保護者、飯南高校生など15人。地面に頭を出すタケノコを探しあて、クワやスコップで慎重に掘り起こしていきました。

収穫後には、来島交流センターの駐車場で、タケノコ飯や山菜の天ぷら、香茸おむすびが振る舞われ、参加者全員でおいしくいただきました。

このイベントは、来島地区の町民13人で構成される来島公民館運営協議会が企画。



「もう少しで収穫できるよ」とエールが響く

4.24
日
谷間の楽校
自然と遊ぼう！山菜採集+α

谷地区で、毎年恒例の「谷間の楽校 自然と遊ぼう！山菜採集+α」が開催されました。

22人の参加者は、講師の荻野英明さん（森林セラピーガイド）の話を聞きながら山菜を探したり、虫メガネで植物を観察したりして、約2キロのコースをゆつくり散策しました。

散策後、参加者のお土産に揚げたての山菜の天ぷらやタケノコが配られました。



山野草の名前やその由来などの説明を聞く参加者